

第14回青山演劇フェスティバル
漂流演劇2000

あの女が帰ってきた

ク・ノウカ

ギリシア悲劇スペクタクル

王女メデヤ

原作 = エウリピデス 台本・演出 = 宮城聡

2000.11.1.wed. ▶ 11.5.sun.

こどもの城 青山円形劇場

斬新な解釈、有無を言わせぬビジュアル、圧倒的なパーカッション

『王女メディア』は99年秋に北九州演劇祭で初演されたク・ナウカの新しい代表作です。古代ギリシアの英雄イアソンとその妻メディアをめぐる繰り広げられる壮大な悲劇を、明治時代の日本に舞台を移し、歓楽街の座興で演じられる劇中劇として再現します。せりふを語るのはすべて男。その言葉に操られるように動く女たち。ク・ナウカが十年間追求してきた語りと動きを分ける“二人一役”の手法がストーリーと密接に絡み合い、やがて言葉の支配をくつがえすかのように女たちの反乱が始まります。語り、動き、生演奏の三位一体がつくりあげる、ク・ナウカ以外のどこにもない陶然たる演劇体験。祝祭としての悲劇の魅力を、ぞんぶんに楽しみ下さい。

地上最後の権力、それは美です。

『王女メディア』はク・ナウカの中でいちばん面白い作品です。いままでなんとなくク・ナウカを見逃してきた方は、ここからご覧下さい。(宮城聰)



終わらせるのが、始めるのが、破壊と創造の神の化身、半島から来た花嫁メディアの復讐が、二千五百年の悪循環に終止符を打つ！

ク・ナウカ「王女メディア」

原作 エウリピデス / 台本・演出 宮城聰

出演
美加理・阿部一徳・川相真紀子・吉植荘一郎・中野真希・吉田桂子・大高浩一・中村優子・榎原有美・江口諒 / 棚川寛子[演奏]
徳永崇・寺内亜矢子・木下貴道・原田玖美子・稲川光・片岡佐知子 ほか

スタッフ
照明=大迫浩二 空間=木津潤平
衣裳=高橋佳代 演奏構成=棚川寛子
音響=AZTEC(水村良・千田友美恵)
舞台監督=海老沢栄 舞台監督助手=斉藤葉子
宣伝美術=須山英樹(STUDIO LUDIC)
制作=久我晴子

ものがたり

自国に攻めこんだギリシアの王子イアソンに恋をした小アジア・コリス国の王女メディアは、祖国を裏切り、イアソンと結ばれる。だがギリシアに凱旋したものの謀略により隣国に追われたイアソンは、そこでの親子4人のつましい暮らしに耐えられず、出世のため妻メディアを捨てて領主の娘との結婚を決めた。夫に裏切られ、追放を言い渡されて絶望したメディアは復讐を決意し、領主とその娘を殺害する。さらにイアソンを苦しめるため、メディアは自分が産んだイアソンの息子を殺して悠然と去ってゆく。

ク・ナウカ

1990年10月、青山演劇フェスティバル『ハムレット』で旗揚げ。ひとつの役を「語る」俳優と「動く」俳優の「二人一役」で演じる独自の方法を用いて古典戯曲に取り組み。伝統と現代を融合させる最先端の劇団として欧米・アジア各国での評価も高い。代表作に『トゥーランドット』『サロメ』『エレクトラ』『天守物語』『熱帯樹』『オイディプス王』など。ク・ナウカとはロシア語で「科学へ」を意味する。

11月1日(水)~5日(日)
■こどもの城 青山円形劇場

	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)
14:30					
19:30					

開場は開演の30分前です
4日マチネ後、アフタートーク有

料金
指定席 4,300円(前売) 4,500円(当日)
栈敷席 3,500円(前売) 3,800円(当日)

チケット取扱
ク・ナウカ 03 3779 7653
青山劇場予約センター 03 3797 1400
チケットぴあ 03 5237 9988
e+(イープラス) <http://eee.eplus.co.jp/>
03 5749 9911
チケット24 03 5489 2229
[アクセスNo. 2743#]

お問い合わせ
ク・ナウカ 03 3779 7653



JR有楽町線(東横線)有楽町駅10分
地下鉄 有楽町線-有楽町駅 徒歩5分



ク・ナウカ シアターカンパニー
〒141 0031 品川区西五反田2 10 8 613 Tel 03 3779 7653 Fax 03 3779 7603
E mail: kunauka@a1.mbn.or.jp <http://plaza14.mbn.or.jp/kunauka/>

